

CASBEE-新築(簡易版)2006年版

京都市友好施設施設

欄に数値またはコメントを記入

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2006年版

■ 評価ソフト: CASBEE-NCb_2006(v.1.1)

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質・性能						3.1
Q-1 室内環境			0.30			3.2
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
2.1.1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-	
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.50	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調		-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用		2.4	0.30	-	-	
3.1.1 昼光率		2.0	0.60	3.0	-	
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	-	
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御	照明制御ゾーン計画に応じた制御システムとしている。	5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.8	0.25	-	-	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
4.1.1 化学物質汚染	建築基準法規制対象外となる建築材料を全面的に使用。	4.0	1.00	3.0	-	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
4.2.1 換気量	建築基準法を満たす換気量の1.2倍の換気量としている。	4.0	0.33	3.0	-	
4.2.2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.2.4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	喫煙室を設置し、それ以外の場所では全館禁煙。	5.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.4
1 機能性		3.4	0.40	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.60	-	-	
1.1.1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応	事務室等はOAフロアとし、十分なOA機器電源を配している。	4.0	0.33	3.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.6	0.40	-	-	
1.2.1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-	
1.2.2 リフレッシュスペース	管理棟には食堂、仮眠室、飲料自動販売機置場を計画している。	5.0	0.33	-	-	
1.2.3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31	-	-	3.5
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性	官庁施設の総合耐震計画基準 類(重要度係数1.25)を適用。	4.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
2.3.1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2.3.2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
2.3.3 主用設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		4.0	0.19	-	-	
2.4.1 空調・換気設備	予備ボイラー等、熱源その他のバックアップ設備を計画している。	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4			
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	工場棟では階高6m、2重床50cmとし、十分ゆとりがある。	4.2	0.31	-	-	3.0			
			5.0	0.60	3.0	-				
	2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-				
			3.0	0.31	3.0	-				
	3.2 荷重のゆとり		3.2	0.38	-	-				
	3.3 設備の更新性		3.0	0.17	-	-				
	1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-				
	2 給排水管の更新性		3.0	0.11	-	-				
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-				
	4 通信配線の更新性		3.0	0.22	-	-				
	5 設備機器の更新性		4.0	0.22	-	-				
	6 バックアップスペース		メンテナンステ時のバックアップスペースを計画している。	4.0	0.22	-		-		
	Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-		-	2.7	
	1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-		-	2.0	
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-				
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1			
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8			
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	3.0			
2 自然エネルギー利用			4.5	0.29	-	-	4.5			
2.1 自然エネルギーの直接利用			自然採光、クールチューブを積極的に取り入れている。	5.0	0.50	-				
2.2 自然エネルギーの変換利用			太陽光発電設備を積極的に取り入れている。	4.0	0.50	-				
3 設備システムの高効率化			1.7	0.43	-	-	1.7			
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0			
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-				
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-				
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6			
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8			
1.1 節水			省水型機器を採用している。	4.0	0.40	-				
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.6	0.60	-				
1 雨水利用システム			雨水利用システムを取り入れている。	4.0	0.67	-				
2 雑排水利用システム				3.0	0.33	-				
2 低環境負荷材				3.6	0.85	-	3.6			
2.1 資源の再利用効率				3.6	0.35	-				
1 躯体材料の再利用効率			地下のマットスラブには高炉セメントを採用している。	4.0	0.67	-				
2 非構造材料の再利用効率				3.0	0.33	-				
2.2 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.04	-				
2.3 有害物質を含まない材料			接着剤、塗装材料に指定対象物質を含む材料を用いない。	5.0	0.08	-				
2.4 既存建築躯体などの再利用				3.0	0.18	-				
2.5 部材の再利用可能性			躯体材料と仕上材料は容易に分別できる。	4.0	0.18	-				
2.6 フロン・ハロンの回避				3.3	0.18	-				
1 消火剤			ハロン消火剤は使用していない。	4.0	0.33	-				
2 断熱材				3.0	0.33	-				
3 冷媒				3.0	0.33	-				
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1			
1 大気汚染防止				3.0	0.15	-	3.0			
2 騒音・振動・悪臭の防止				5.0	0.15	-	5.0			
2.1 騒音			騒音シミュレーションを行い、減音対策を講じている。	5.0	1.00	-				
2.2 振動				-	-	-				
2.3 悪臭				-	-	-				
3 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.15	-	3.0			
3.1 風害の抑制				3.0	0.70	-				
3.2 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-				
4 光害の抑制			屋外照明は光軸下向き、周辺環境に影響しない計画としている。	4.0	0.10	-	4.0			
5 温熱環境悪化の改善				2.0	0.30	-	2.0			
6 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.15	-	3.5			
6.1 雨水処理負荷抑制				3.0	0.25	-				
6.2 汚水処理負荷抑制			汚水は高度処理後排水。	4.0	0.25	-				
6.3 交通負荷抑制			車輛管制計画済。	4.0	0.25	-				
6.4 廃棄物処理負荷				3.0	0.25	-				

■ LR-1 用途別得点表		工場	-	-	-	面積按分 総合スコア
		15547 m ²	-	-	-	-
1	建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	-
3	設備システムの 高効率化	ERRによる評価 個別設備による評価	-	-	-	-1.9
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	5.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-